

## 新たな目標について

平成26年度は、ごみ総量が38万6千トン、リサイクル率も29.9%と震災前より低下しています。

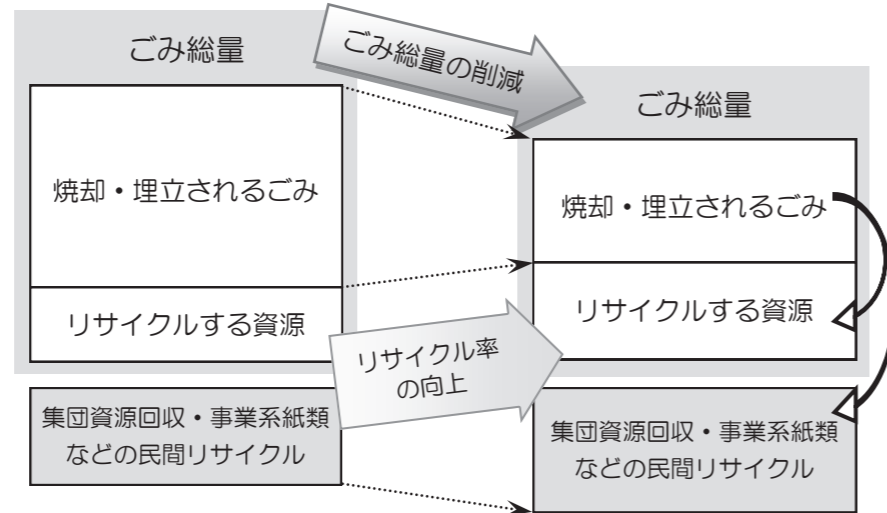
更なるごみ減量・リサイクルを進め、資源循環型社会の構築に向けた取り組みを次のステージへ進めるために、改定計画では新たな目標を設定します。

目標項目	32年度目標	(26年度との比較)
ごみ総量	36万トン以下	2.6万トン減
燃やすごみの量	30.5万トン以下	2.8万トン減
リサイクル率	35%以上	5ポイント増
1人1日当たり家庭ごみ(新規)	450グラム以下	39グラム減

### 目標の達成に向けたイメージ

ごみの減量(リデュース・リユース)や、資源物の分別(リサイクル)により、ごみ総量を削減します。

また、資源物の分別や民間リサイクルの推進により、リサイクル率を向上します。



## 仙台市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(改定案)へご意見をお寄せください

### ●ご提出方法・お問い合わせ先

ご意見・住所・氏名(法人や団体の場合は法人名及び代表者名)を記入し、郵送・FAX・Eメールのいずれかの方法で提出してください。

郵送 : 〒980-8671 (住所不要) 仙台市環境局ごみ減量推進課 行  
 FAX : 022-214-8840  
 Eメール : kan007210@city.sendai.jp  
 その他のお問い合わせ先: 仙台市環境局ごみ減量推進課 ☎022-214-8230

### ●募集期間

平成27年10月16日(金)～11月18日(水)

### ●資料配布場所

平成27年10月16日(金)より、次の場所で本編の閲覧及び概要版を配布しています。  
 また、仙台市ホームページ(<http://www.city.sendai.jp>)でもご覧いただけます。

【閲覧場所及び配布場所】 環境局ごみ減量推進課(青葉区二日町6-12MSビル3階)、市民のへや・市政情報センター(本庁舎1階)、宮城野区・若林区・太白区情報センター、各区役所総合案内、各総合支所、リサイクルプラザ(今泉・葛岡)、各市民センター

## 計画の改定について 説明会を開催します

日時: 平成27年11月11日(水) 19時～20時(予定)  
 場所: 仙台市役所本庁舎 8階ホール(北側通用口からお入り下さい)  
 ※事前の申し込み等は不要です。また、ご来場には公共交通機関をご利用ください。

## 仙台市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(改定案) 概要版

### 一般廃棄物処理基本計画とは

杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)の部門別計画として、また、廃棄物処理法に基づく廃棄物処理計画として定めるものです。

現在の計画は、平成23年3月に策定したもので、【資源循環都市づくり】【低炭素都市づくり】【市民・事業者・市の連携や三者が一体化した施策の推進】という3つの基本的な施策の方向性がかかげ、市民・事業者・市の三者による一層の連携のもと、より実効性のあるごみ減量・リサイクルの取り組みを進め、持続可能な社会の構築に向けた取り組みを進めていくこととしています。

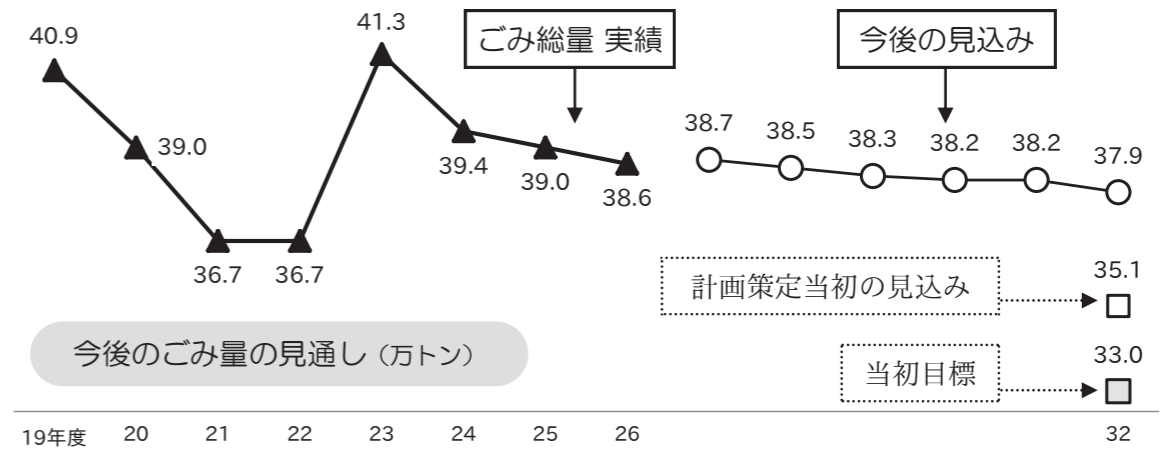
### 計画改定の趣旨(平成28年3月)

本計画の策定と同時期に東日本大震災が発生し、本市においては約272万トンという膨大な量の震災廃棄物等を迅速に収集・処理するという大きな課題が生じました。

また、日常的に排出されるごみの処理体制についても様々な影響が生じ、その影響は震災後5年余りが経過した現在も続いています。

そのため今回、計画前期(平成23年度～27年度当初)の施策の取り組み状況等を評価し、課題等を明らかにするとともに、課題解決に向けて計画本文及び計画目標を改定することとしました。

### 計画後期(平成28年度～32年度)の課題



計画前期分の評価を行った結果、まず基本目標については、計画策定と同時期に発生した東日本大震災により人口が増加したことや、震災復興に伴う経済活動の活性化によって事業ごみが増加していること等により、現状との乖離が大きく達成が困難となりました。

生活ごみの減量・リサイクルについては、家庭ごみ中の資源物(プラ製容器包装や紙類など)の増加や、集合住宅居住者・短期居住者(市内3年以内の居住者)へのごみ減量・分別推進に係る働きかけの遅れなどが課題となりました。

また事業ごみの減量・リサイクルについては、震災直後に急増した事業ごみ量が、震災前との比較で依然として高止まり傾向にあることや、可燃ごみに占める生ごみの割合の増加、事業者による食品リサイクルの取り組みの遅れなどが課題となりました。

このような状況を踏まえ、これまで以上に3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取り組みを加速させるために、計画後期の5年間では、課題解決に向けた施策の検討及び実施・拡充が必要です。

# 計画の全体像 (下線部分は当初計画からの変更点)

## 施策の基本的な方向性

### 資源循環都市づくり

< 更なる循環型社会の構築 >

### 低炭素都市づくり

< 低炭素社会の構築に向けた  
統合的な取り組みの推進 >

市民・事業者・市の連携や  
三者が一体化した  
施策の推進

## 実施・検討すべき主な施策

◇生活ごみの減量・リサイクルの推進  
生ごみの減量・リサイクルの推進、各家庭での生ごみ減量の取り組み推進  
家庭ごみに混入している再生可能な紙類のリサイクルの推進  
プラスチック製容器包装の分別排出行動のきっかけづくり  
集合住宅居住者、短期居住者（3年未満居住者）、若年層等への効果的な広報  
生活系剪定枝のリサイクル手法の検討 など

◇事業ごみの減量・リサイクルの推進  
排出事業者のごみ減量・リサイクルの取り組みを周知する仕組みの検討  
食品リサイクル法に基づくごみ減量・リサイクルの取り組みの推進  
事業ごみ処理手数料の見直しの具体的な検討  
焼却工場への再生可能紙類の搬入禁止措置の徹底  
ごみ集積所における不適正排出の実態把握及び指導・啓発の強化 など

◇ごみの適正処理体制の確立  
ごみ量などの予測を踏まえた処理体制のあり方検討  
災害廃棄物の適正処理に係る廃棄物処理体制の強靱化についての検討 など

◇燃やすごみの量の低減

◇収集運搬時の温室効果ガスの削減  
環境負荷の少ない低公害車両の導入の一層の推進  
収集運搬体制の最適化の検討 など

◇中間処理・最終処分時の温室効果ガスの削減  
省エネルギー・高エネルギー回収に資する設備の導入  
ごみ焼却時に発生する余熱の有効利用の推進  
温室効果ガス低減に資する処理施設の最適化の検討 など

◇温室効果ガス排出量の定量評価手法の導入の検討

◇実践につながりやすい情報提供

◇地域個別の課題解決に向けた取り組みの推進

◇ごみ減量・リサイクル推進のための人・組織づくり  
クリーン仙台推進員・町内会・子供会など地域に根ざした活動の推進  
地域で行う様々な活動を、その地域の市民・事業者へ伝えるための仕組みの検討  
小中学生を対象とした教育・啓発活動の充実 など

◇地域課題の把握と解決に向けた施策検討

## 新たな目標（平成32年度）

ごみ総量 36万トン以下

リサイクル率 35%以上

### 新規項目

1人1日当たり  
家庭ごみ 450グラム以下

燃やすごみの量  
30万5千トン以下

温室効果ガス排出量  
ごみ処理に係る温室効果ガス排出量を  
中長期的に低減